

般若心経(摩訶般若波羅蜜多心経)

この経題は、インドの古い言葉サンスクリット語(梵語)を漢字に音訳したもので、「マカ」は大きく優れたということ、「ハンニヤ」は智慧の意味で、「ハラミタ」は到彼岸と訳されています。「心経」は文字通り、心のお経ですが、中心となるお経、つまり仏さまの教えのエッセンスとも言えます。ですから「偉大なる真理を自覚する肝心な教え」とも訳されます。わずかに二七六文字(経題を含む)のこのお経は、宗派を問わず広く読まれるお経です。

自由に真理を視る眼の開けた菩薩は、その深い英智に依って、肉体も精神もすべて空であると達観して、一切の苦惱災厄から免れる。

舍利弗よ、肉体は空を離れては無い。空は肉体を離れては無い。肉体はそのまま空であり、空はそのまま肉体である。感覚も想念も、或いは自我という精神組織も、みなその通りである。舍利弗よ、すべては空であるから、生ずることもなければ滅することも無い。垢れもしなければ綺麗にもならない。増えもせねば、減りもせん。だから空の中には肉体も無く、感覚も想念も意欲も自我も無い。眼も無く耳も無く鼻も無く舌も無く体も無い。色も無く声も無く香も無く味も無く触られるものも無く想われるものも無い。曾て見た世界も無ければ、曾て想った世界も無い。盲目的本能も無ければ、盲目的本能の無くなることも無い。また老死の苦しみも無ければ、老死の苦の尽きることも無い。苦惱も無ければ、苦惱の因である貧愛も無い。苦惱からの救いも無ければ、そのための修行も無い。知ったというものも無ければ、得たというものも無い。本来得られるべき何も無いからである。

菩薩さまはこのような徹底した英智に依って、心中何のこだわりも無い。こだわりが無いから、あらゆる混迷邪見な想念から救われて、永遠に静寂なる境地を得られる。三世の諸仏も、この偉大なる英智に依って、その尊厳なる普遍的人格を自覚されたのである。だからこの偉大なる英智こそ、最も神秘的な呪文であり、最も光輝ある呪文であり、地上最高の呪文であり、他に比類なき呪文である。この呪文が世の一切の苦難を排除することは、まさしく真実であって、一点の虚妄も無い。ではその偉大なる英智の呪文を示そう。

救われた。救われた。完全に救われた。みんな完全に救われた。ここがお浄土だった。